



成果に連動した 魅力ある 介護予防の取組

～静岡市の介護予防の新たな挑戦～

静岡市 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部



静岡市役所



〇×会社

成果に連動した魅力ある介護予防の主な取組

1 概要

市の実施してきた「S型デイサービス」や「しぞ〜かでん伝体操」等に加え、高齢者の皆様が「ワクワク」「ウキウキ」する新たな介護予防の取組を始めます。身近なところで、気づきがあり、学びがあり、出会いのある各プログラムを市内のいたるところで、ほぼ毎月開催します。

気になるプログラムに、自由に気楽にご参加ください。

2 開催期間

令和6年9月(予定) から 令和9年3月31日まで

3 開催場所

静岡市内一円

4 対象

65歳以上の高齢者を中心にごなたでも



<プログラムのイメージ>

◆ フェスタ



◆ サロン



◆ キャラバン



◆ ウォーク



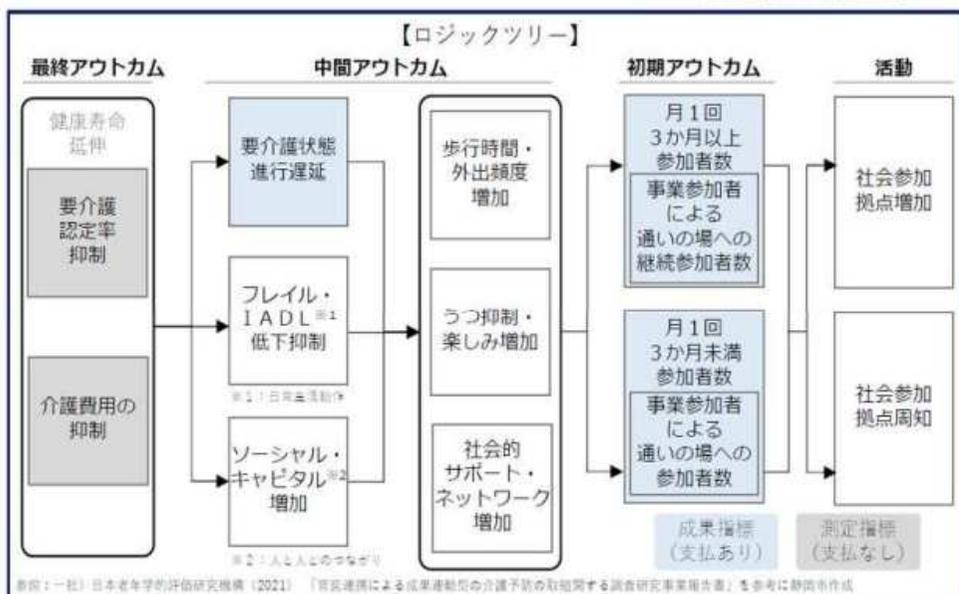
◆ 運動



◆ 食事



◆ 趣味



静岡市の介護予防の主な取組

S型デイサービス(市が事業者へ委託)

住民の支え合いによるレクリエーションや
ゲームを取り入れた簡単な体操、会食などを通した、**高齢者同士の交流の場**



しぞ〜かでん伝体操（市が主体となり直営）

米国国立保健研究所・老化医学研究所の【50歳からの健康エクササイズ 体操・運動・安全・栄養】を参考に制作したもので、おもりを手足に付けて行う、**体操**



成果に連動した魅力ある介護予防のきっかけ・考え方

- 介護サービスの需要と経費が増加。

要支援・要介護認定者数が増加傾向。

要支援・要介護認定者数(静岡市)

2020年度	2021年度	2022年度
39,989人	40,928人	41,796人

介護サービス(介護保険の対象となるサービス)に要する経費が増加傾向。

介護サービスに要する経費(静岡市)

2020年度	2021年度	2022年度
672億円	685億円	691億円

- 介護サービスを提供する人材が不足。

現時点でもすでに介護職員の有効求人倍率が4倍を超えている。(静岡市、2023年)

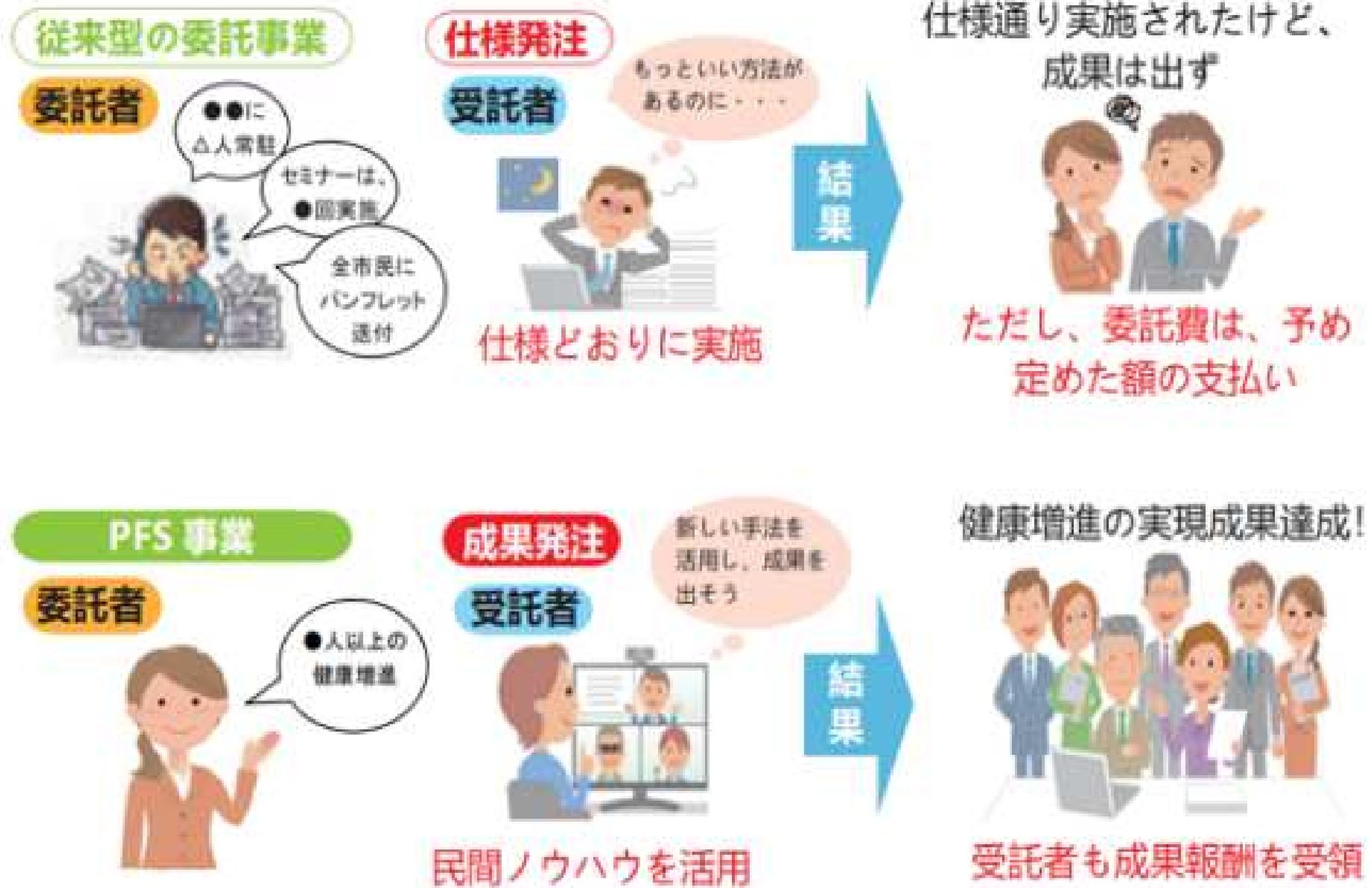
介護人材の需要と供給のギャップが2025年に、1,200人まで広がる見込み。

需要に対し10%不足。(需要:約13,500人 供給:約12,300人)

- 増加する介護サービス需要そのものの抑制が必要。

何とかして、介護予防効果を高めたい。

成果に連動した魅力ある介護予防の基本的な考え方(仕様発注から成果発注へ)

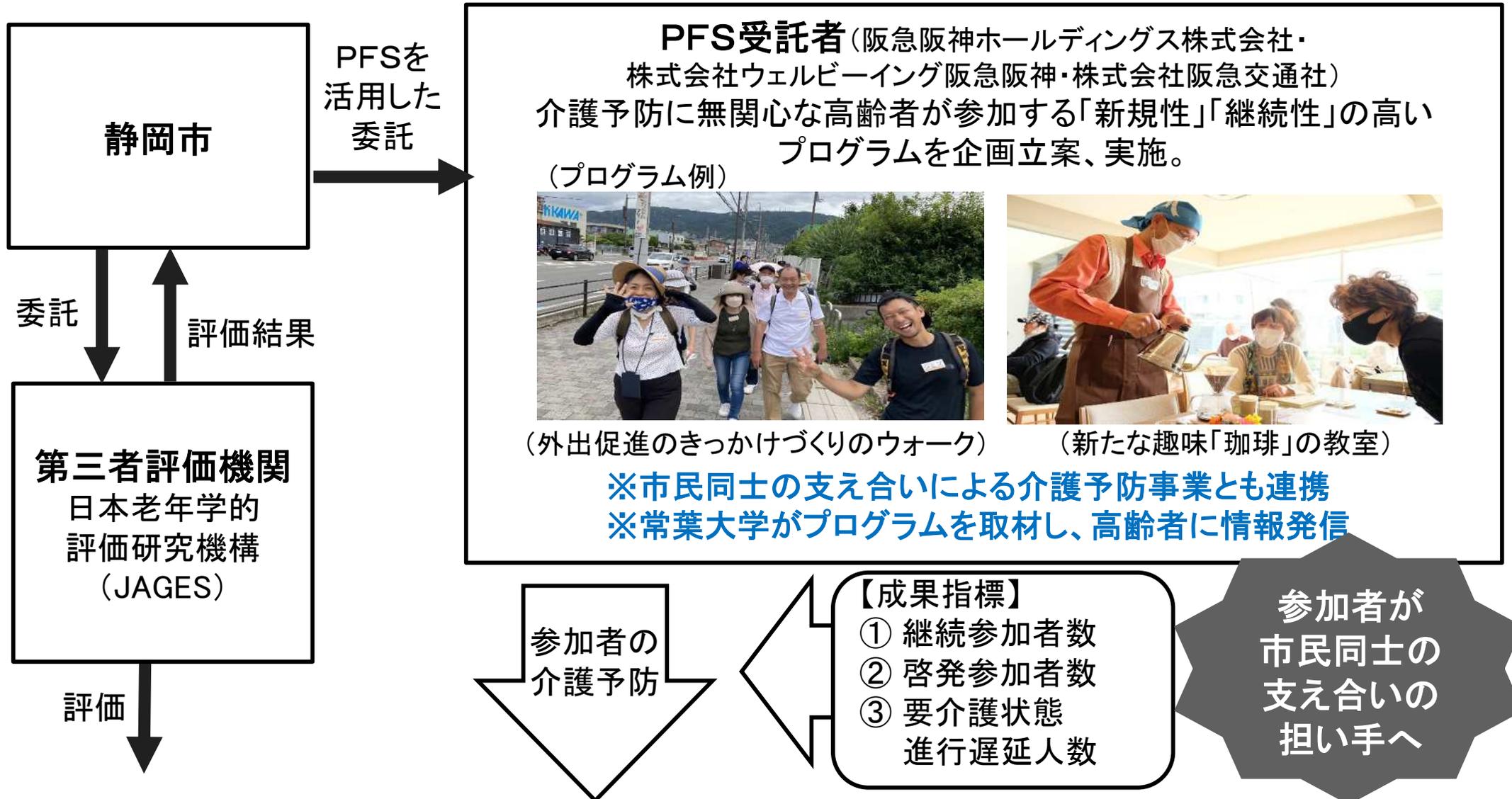


PFS(Pay For Success) :

事業者が創意工夫し、高い成果を上げることで報酬が増える仕組み。

これにより事業者のやりがいや意欲が大幅に向上し、より高い成果を期待できる。

成果に連動した魅力ある介護予防の全体イメージ



介護予防効果 ※内閣府のPFS導入可能性調査支援事業(令和4年度)等を参考に試算

・介護給付費額:0.63億円の縮減／3年

・要介護認定率:27%の抑制／3年